

外 科 学 (2)

教授 藤 卷 雅 夫
助 教授 伊 藤 博
助 手 田 沢 賢 次

1. 研究概要

1) 藤卷：食道、胃の悪性腫瘍の臨床病理学的研究を中心に行っている。

2) 伊藤：肝臓、胆道、膵臓疾患を研究対象としているが、特に切除不能の肝癌に対する門脈枝結紮に関する研究をこの2、3年来行ってきた。

3) 田沢：結腸、直腸の悪性腫瘍がその研究対象の中心で、特に人工肛門造設患者のアフターケアに関しては新潟県においては心的な役割りを演じている。中心

2. 学会発表

1) 食道癌<Ⅱ・Ⅲ期>の合併治療：藤卷雅夫ほか、第76回日本外科学会総会、51. 4, 東京。

2) 有茎結腸使用の食道再建術について：(シネシンポジウム) 藤卷雅夫ほか、第2回日本消化器外科学会、51. 7, 東京。

3) 早期食道癌の治療について：川口正樹、藤卷雅夫ほか、第29回日本胸部外科学会総会、51. 9, 神戸。

4) 食道癌の切除可能限界と合併療法：田中乙雄、藤卷雅夫ほか、第29回日本胸部外科学会総会、51. 9, 神戸。

5) 食道癌術後の肺循環およびガス交換障害に対する持続陽圧呼吸(Peep)の効果(シンポジウム)：佐々木公一、藤卷雅夫ほか、第29回日本胸部外科学会総会、51. 10, 神戸。

6) 食道癌のプレオマイシンおよび照射による電顕的变化、興梠建郎、藤卷雅夫ほか、第35回日本癌学会総会、51. 10, 東京。

7) 切除不能肝癌に対する門脈枝結紮についての臨床的および実験的研究：伊藤博ほか、第14回日本癌治療学会総会、51. 9, 仙台。

8) Portal branch ligation as the palliative procedure for unresectable hepatoma : Yoshida, K. and Itoh, H. 4th World Congress of the Collegium Internationale Chirurgiae Digestive. Switzerland, September 1976.

9) 人工肛門とその after care — 人工肛門管理における浣腸療法の選択と地域性一。(シンポジウム)：田沢賢次、第9回日本消化器外科学会総会、51. 7, 東京。

10) 食道粘膜下造影法による診断と治療：斉藤寿一、藤卷雅夫ほか、日本消化器外科学会第7回大会、52. 3, 鹿児島。

11) われわれの切除胃癌症例の遠隔成績について(パネルシンポ) 藤卷雅夫ほか、第77回日本外科学会総会、52. 3, 東京。

12) 直腸粘膜下造影と直腸癌手術々式の選択：田沢賢次、藤卷雅夫ほか、日本消化器外科学会、第10回総会、52. 7, 神戸。

13) プレオマイシン術前処置によるヒト食道癌細胞の変化：興梠建郎、藤卷雅夫、田沢賢次ほか、第9回日本臨床電顕学会、52. 9, 札幌。

14) 食道癌に対する合併療法、術前併用(照射+化学療法)について(シンポジウム)：藤卷雅夫、第30回日本胸部外科学会総会、52. 9, 東京。

15) 食道癌のskip lesion に関する病理組織学的検討を中心に：田中乙雄、藤卷雅夫ほか、第30回日本胸部外科学会総会、52. 9, 東京。

16) 胃癌術後化学療法としてのFAMT, OK-432併用療法の意義について：小柳隆介、藤卷雅夫ほか、第15回日本癌治療学会総会、52. 10, 福岡。

17) 急性腹膜炎に対する術中腹腔内洗浄抗生剤注入の意義。沢田洋一、藤卷雅夫ほか、第39回日本臨床外科学会総会、52. 10, 岡山。

3. 刊行論文・著書等

1) 佐々木公一、藤卷雅夫ほか：胃切除後に発生した食道癌に対する外科的治療の検討、日消外会誌、9(1):1-7, 1976。

2) 藤卷雅夫ほか：早期食道癌の分類とその典型的症例、ポリープ状早期食道癌、胃と腸、11(3):306-307, 1976。

3) 斉藤寿一、藤卷雅夫ほか：食道平滑筋肉腫の一治験例、癌の臨床、22(4):339-342, 1976。

4) 藤卷雅夫：頸部食道癌に対する外科的治療について：気食会報、27(2):103-109, 1976。

5) 武藤輝一、藤卷雅夫ほか：残胃癌の問題。臨床と研究、53(10):2934-2937, 1976。

6) 佐藤鍊一郎、藤卷雅夫ほか：食道に原発せる悪性黒色腫の1例、癌の臨床、22(12):944-947, 1976。

7) 藤卷雅夫：食道癌に対する外科療法とプレオ

マイシンの併用—とくに術前投与としてのプレオマイシンと放射線の併用について、癌の臨床 **22**(13) : 1012-1016, 1976.

8) 藤巻雅夫ほか：乳腺の生検，外科診療 **18** (12) : 1418-1422, 1976.

9) 齊藤寿一，藤巻雅夫ほか：胃癌に対する脾摘出，脾体尾部切除を合併した胃癌に対するついて，新潟医学会誌 **90**(11) : 574-578, 1976.

10) 吉村光政，伊藤博ほか：食道静脈癌に対する直達手術成績，外科 **38**(8) : 797-802, 1976.

11) Lee, K., Fujimaki, M. et al.: Clinical and pathophysiological evaluation of esophageal reconstruction using gastric tube and pedicled colon segment. Jap. J. Surg. **6** : (3) : 109-118, 1976.

12) 田沢賢次：人工肛門患者の浣腸療法—とくに注人時の逆流防止のため—。医学のあゆみ **99**(9) : 681-683, 1976, 1976.

13) 田沢賢次，藤巻雅夫ほか：痔核凍結療法—各疾患別に対する凍結局所数と凍結回数検討—。日臨外会誌 **37**(6) : 909-914, 1976.

14) Kudo, S., Fujimaki, M. et al.: Ultrastructural observation on an adrenocortical adenocarcinoma

in a 3-year-old girl with Cushing syndrome. J. Clin. Electron Microscopy **9** : 5-6, 1976. Clin.

15) 齊藤寿一，藤巻雅夫ほか：教室の早期胃癌症例について。外科診療 **19**(3) : 335-339, 1977.

16) 李奎鉉，藤巻雅夫ほか：食道再建後における代用食道(胃管，有茎結腸)の病態生理。日消外会誌 **10**(4) : 386-392, 1977.

17) 藤巻雅夫ほか：われわれの切除胃癌症例の遠隔成績について。日外会誌 **78**(9) : 856-859, 1977.

18) 清水武昭，伊藤博ほか：摘出豚肝体外灌流の実験的研究。移植 **12**(4) : 171-176, 1977.

19) 田沢賢次，藤巻雅夫ほか：人工肛門 after care の実際—ストーマの処理，局所管理からみた治療と実際—。臨床外科 **32**(1) : 43-50, 1977.

20) 田沢賢次，藤巻雅夫ほか：新潟における人工肛門患者の after care の現況。日消外会誌 **10**(2) : 228-228, 1977.

21) 田沢賢次，藤巻雅夫ほか：痔疾に対する強力ポステリザン軟膏の効果および凍結療法併用について。薬物療法 **9**(6) : 965-969, 1977.